

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号炉の地震等に係る新基準適合性審査
（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事
業者ヒアリング（15）」

2. 日時：令和5年4月12日(水) 10時00分～11時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審
査官、西来主任技術研究調査官、鈴木安全審査専門職、馬
場係員、松末技術参与、田島主任技術研究調査官

九州電力株式会社：土木建築本部 副本部長 他5名

（このうち3名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年4月5日に受取済み>>

- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地
震動評価における地下構造モデルの設定について

時間	自動文字起こし結果
00:00:03	はい。す。地震規制庁でひん津波の鈴木です。それでは時間になりましたので、玄海3号4号、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価地下構造モデルの設定。
00:00:15	こちらの1回目のヒアリングをしています。今回は2月の会合のコメント回答ということで玄海地下構造全体ですねまとめるような形で、
00:00:24	資料を、これは4月1日付けで提出されてますので、まずこちらについて九州電力から説明をお願いします。
00:00:34	はい。九州電力の本村でございます。本日はよろしくお願いたします。資料、TPG02を用いまして玄海の標準応答スペクトルを考慮した評価における地下構造モデルの設定についてご説明いたします。
00:00:48	1ページ、2ページに目次を示しておりますが、今回の資料につきましては、玄海の標準応答スペクトルを考慮した評価における地下構造モデルの設定について、過去の審査会合にてご説明した一連の内容取りまとめまして、
00:01:05	一部を修正追加したものでございます。
00:01:09	主な修正、追加箇所、黄色マーカーで示しております。本日は、黄色マーカーで示した、修正追加箇所を重点的にご説明させていただきます。
00:01:20	4ページ5ページに、コメントリストを示してございます。
00:01:25	No.13、5ページになりますけどナンバー13に、2月10日のコメントを記載しております。
00:01:34	鉛直方向の観測事実との整合性に係る検討、最深部地震計からEL-200メートルまでの範囲の地盤減衰の設定の考え方を追加した上で、
00:01:46	全体の取りまとめた説明することということで、今回ご説明させていただきます。
00:01:52	6ページに行ってくださいまして、
00:01:56	今後の審査スケジュールについてお示ししてございます。
00:02:01	地盤減衰のところについては4月上旬に資料提出させていただきましたが、月末に審査会合という流れで考えてございます。
00:02:12	その後、模擬地震は、基準地震動Ssについて5月前半に資料を提出、5月末に審査会合、
00:02:22	あと、モデルの位置付けのところの、既許可への影響確認についても同様のスケジュールで考えております。
00:02:30	基準地震動Ssの確定後、基礎地盤の安定性評価に入りますけども、特重の資料提出会合については前回の会合時と変わらず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:41	変わりませんが、特集以外を前倒しまして
00:02:47	特重と同じようなスケジュールで考えてございます。
00:02:52	地盤減衰のところの欄のですね設定した地下構造モデルの妥当性のところの対応方針について後程ご説明しますけども、地震計設置位置、
00:03:04	以前の妥当性確認それとブロックインバージョン結果に妥当性による妥当性確認のところを、修正を加えてございます。
00:03:14	続いて7ページ以降が、地下構造モデルの設定になります。
00:03:21	主な変更点としては、10ページになります。
00:03:27	後程ご説明しますけども、敷地における地震観測記録の蓄積のところ、
00:03:35	考え方のところで後半部分になりますが、応答スペクトルにより、浅部の地下構造モデルの妥当性を確認、それと右側のところのモデルの設定のところで、設定した地下構造モデルの確認のためにか。
00:03:49	あと、すいません4段目になりますけども、ブロックインバージョン解析のところ、これも後半のところになりますけども、
00:03:57	進路を含む全体を見ても、浅部で確認した地下構造モデルの妥当性に矛盾がないことを確認というのを、追記してございます。
00:04:07	続きまして16ページに、
00:04:10	お願いします。
00:04:14	2月の第1113回審査会合で、ご説明した方針を示してございます。右下のところの、地下構造モデルの妥当性確認のところについて、2月の会合では、議論がありまして、
00:04:29	それを踏まえまして17ページに、方針の見直しについて記載してございます。
00:04:37	一つ目の17ページですけど一つ目のポツについては、これまでと変わりませんが当社の基本的な方針として許可以降に、
00:04:47	継続的に取得している、鉛直アレイ地震観測記録等の観測事実に基づいて、地下構造モデルの設定と、
00:04:57	二つ目のポツでブロックインバージョン結果を用いた地震による検討については、科学的技術的に個別点の、地下構造モデルの妥当性を確認する明確な根拠として適用することは、現時点で考え、困難と。
00:05:12	考えられる。
00:05:14	これらを踏まえまして、(1) (2) を記載してありますが、(1) についてですが、地震観測記録の獲られている浅部の地下構造モデルについて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:05:25	地震観測記録の応答スペクトルによる確認により、観測事実との整合性に基づいて、
00:05:32	設定した地下構造モデルによる応答は応答スペクトルが、地震観測記録の応答スペクトル同等もしくは上回ることを確認しまして、地下構造モデルの妥当性を確認する方針としてございます。
00:05:46	次に（2）ですけれども、深部を含む全体の地下構造モデルについて、より一層の説明性向上の目的としてブラックブロックインバージョン解析。
00:05:58	家を用いた
00:06:00	地震はによる確認により、新聞を含む全体を見ても、浅部で確認した地下構造モデルの妥当性に矛盾がないことを、応答派の応答スペクトルが、観測記録の応答スペクトルと比較しまして、
00:06:14	スペクトル形状が概ね整合しており、過小評価となっていないことを確認する方針としております。
00:06:22	これらを踏まえまして、18 ページになりますが、
00:06:27	右下の地下構造モデルの妥当性確認のところ、
00:06:32	について 17 ページの内容を記載してございます。
00:06:37	19 ページ以降につきましては、12 月、2 月の審査会合から、特に変更ありませんで、続いて先ほどご説明した方針に基づきまして、地下構造モデルの妥当性確認ということで、
00:06:51	ちょっと飛びますけれども 70 ページからになります。
00:07:00	70 ページの三つ目のポツですけれども、18 ページでご説明しました方針に基づく目に、応答スペクトルによる確認、それとブラックインバージョン結果を用いた地震はによる確認について記載してございます。
00:07:17	ブラックインバージョン結果による確認につきましては、2 段に分けて記載してございますが、一つ目は、震源特性に伝播経路特性を乗じた人はによる確認と、
00:07:28	二つ目については、地盤増幅特性により、引き戻した地震はによる確認を示しております。
00:07:36	71 ページに行ってくださいまして 71 ページからが、（1）地震観測記録の応答スペクトルによる確認について示しております。
00:07:46	次の 72 ページから 81 ページに、水平方向、上下方向の応答スペクトルの比較をしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:07:55	これらを踏まえまして、設定した地下構造モデルの応答はの応答スペクトルが、地震観測記録の応答スペクトルと同等もしくは上回るということで、
00:08:06	EL-90メートルまでの範囲の地下構造モデルの妥当性を確認してございます。
00:08:12	ただ、82ページに行っていました、
00:08:20	こちらですね、二つ目のポツに記載しておりますが、例えば、先ほどの78ページの13番の地震ですね。
00:08:30	熊本県熊本地方の地震観測記録等ですね、上下方向の一部の観測記録の一部の周期体、0.2秒から0.4秒付近におきまして、スペクトル形状の凹凸のわずかな差異により、
00:08:48	応答は観測記録を下回っております。
00:08:51	82ページの下側に、
00:08:55	示してますけども、EL-17メーターとEL-90メーターの地震観測記録の伝達関数、それとモデルの方になりますけども、理論伝達関数を比較しますと、
00:09:09	青ハッチで示しております通り、0.2秒から0.4秒に対応する、2.5Hzから5Hzのところでは、この両者というのは、整合しております。
00:09:21	この伝達関数における観測事実との整合性から、解放基盤表面からEL-90メーターの範囲における、地下構造モデルは妥当であると。
00:09:32	いうふうに判断してございます。さらにでございますけども、次のページ83ページ。
00:09:39	2、3、83ページでは、震度ごとの上下方向の地震観測記録の応答スペクトルの確認ということで、
00:09:48	84ページと85ページで、解放基盤相当のEL-17メーターと、最新の地震計、EL-90メーターの
00:10:00	観測記録の応答スペクトルを比較してございます。
00:10:04	一部の地震観測記録の一部の周期体、0.2秒から0.4秒に見られたスペクトル形状の凹凸というのは、EL-90メーターでも同様の傾向が見られるため、
00:10:17	このスペクトル形状の落とすというのは、EL-90メーター以浅の範囲において、生じたものではなく、
00:10:25	解放基盤表面からEL-90メーターまでの範囲における地下構造モデルの妥当性に影響がないと、いうふうに判断してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:10:37	続きますして、86 ページから、
00:10:41	が、(2) ということ、ブロックインバージョン結果を用いた地震は による確認になります。
00:10:49	87 ページでは、まず、地震基盤相当面における、地震はの作成というこ とで、ここでは、一つ目のポツ、水平方向については、震源特性に伝播 経路特性を乗じて作成してございます。
00:11:05	二つ目のポツ、上下方向につきましては、水平の水平方向の地震基盤班 に、
00:11:13	地震観測記録を基に算出した上下成分の水平成分に対する比率により、 補正を実施し、作成してございます。
00:11:23	88 ページが、応答スペクトルによる確認ということ敷地で観測された 地震のうち、規模の大きな地震であります。⑤の 2005 年福岡県西方沖 地震の本震。
00:11:38	それと、⑩になりますけども、実 1016 年、熊本地震本震を用いまし て、
00:11:45	解放基盤相当での応答はと、観測記録の応答スペクトルによる比較を、
00:11:51	実施しております。
00:11:53	比較結果を 89 ページに示しております。
00:11:59	こちら水平方向につきましては 2 月の会合でお示ししてございませ すが、上下方向については今回追記してございます。
00:12:06	これらを踏まえまして応答は、観測記録の応答スペクトルと比較して、 スペクトル形状が概ね整合しており、過小評価となっていないことを確 認しております。
00:12:18	なお、補足の④で、後程ご説明しますけども、(1) の地震観測記録の 応答スペクトルのよう確認において対象とした 19 地震に対して、
00:12:29	確認した結果、これらの 2 地震と同様に、スペクトル形状が概ね整合し ており過小評価となっていないことを確認してございます。
00:12:39	以上を踏まえまして、2.4、通過構造モデルの妥当性の確認とのまとめ ということ、90 ページになりますけども、
00:12:50	一つ目の四角で地震観測記録の獲られている浅部の地下構造モデルにつ いて地震観測記録の応答スペクトルによる確認の結果、
00:12:59	設定した、2 火口設定した地下構造モデルによる応答は応答スペクトル が地震観測記録の応答スペクトルと同等もしくは上回ることから、
00:13:10	浅部の地下構造モデルの妥当性を確認。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:14	二つ目の四角で、深部を含む全体の地下構造モデルについて、より一層の説明性向上のを目的とした A ブロックインバージョン結果を用いた地震による確認の結果、
00:13:27	A ブロックインバージョン結果を用いた地震による、応答は応答スペクトルが、地震観測記録の応答スペクトルと比較して、スペクトル形状が概ね整合しておりまして過小評価となっていないことから、
00:13:41	深部を含む全体を見ても、浅部で確認した、地下構造モデルの妥当性に矛盾がないことを確認してございます。
00:13:49	続きまして 91 ページになります。地下構造モデル能勢再設定ということで、2 月の審査会合でご指摘いただきました、最深部地震計から EL-200 メーターまでの
00:14:04	地盤減衰の設定の考え方についてまとめております。
00:14:09	一つ目のポツで、標準応答スペクトルを考慮した地震動に、さらに余裕を持たせることで安全裕度の向上を図るため、
00:14:18	地盤減衰 Q 値を見直すこととしております。
00:14:22	二つ目のポツになりますけれども、地盤減衰 Q 値の見直し範囲は、EL-90 メーターから EL-200 メーターまでの範囲としております。
00:14:33	解放基盤表面から EL-90 メーターまでの範囲の地盤減衰については、地震観測記録の検討に基づき設定しまして、地震観測記録との整合性に基づいて、
00:14:46	妥当性を、直接的に確認してございます。
00:14:51	ただ一方で、L-90 メーターから A-200 メーターまでの範囲の地盤減衰につきましては、既存の速度層断面、それと経験的地盤増幅率を用いた確認により、
00:15:04	EL-90 メーター以前と同等の地盤減衰を設定しまして、地震観測記録ではなく、ボーリング孔内における減衰測定等によりまして、妥当性を確認しているような、
00:15:18	というような違いを踏まえまして、EL-90 メーターから 200 メーター。
00:15:24	マイナス 200 メーターまでの地盤減衰を、Q=12.5 から Q=16.7 に見直すこととしております。
00:15:33	見直しました。標準応答スペクトル用モデルを 92 ページの右側に示してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:15:43	この見直した標準応答スペクトル用モデルを用いまして、先ほどのブロックインバージョン結果を用いた地震はによる応答はと、観測記録の応答スペクトルの確認を、
00:15:55	参考としまして、93 ページにお示ししているところでございます。
00:16:02	次に、94 ページ 95 ページで、2.6 としまして、地下構造モデルの設定のまとめを記載しております。
00:16:13	94 ページにつきましては 12 月の審査会合から大きな変更はございません。
00:16:20	95 ページの一つ目の四角につきましては、先ほどご説明しました、90 ページの 2.4 節のまとめを記載しております。
00:16:30	二つ目の四角につきましては、2.5 節でご説明しました、標準応答スペクトルを考慮した地震動にさらに裕度を持たせるということで、
00:16:41	安全裕度の向上を図るため EL-90 メーターから EL-200 メーターまでの範囲の地盤減衰を 12.5 から 16.7 に見直すことを記載しております。
00:16:54	本件については以上ですけれども続きましてですね、121 ページに飛びますけれども、先ほどちょっと触れました補足の④の、
00:17:06	ご説明をしたいと思っております。
00:17:12	122 ページ、開いていただきまして、
00:17:17	前回の審査会合でもご説明しておりますけれども、ブロックインバージョン結果を用いた地震はの作成方法については、(1)、震源特性に伝播経路特性を乗じた地震は、
00:17:30	それと(2)としまして、地盤増幅率により、引き戻した地震は、というのがございまして、(1)につきましては、破壊伝播効果等の残差が含まれないため、
00:17:43	残差が 1 に近いものを選定する必要がございます。
00:17:46	一方、(2)につきましてはどの地震でも適用できるため、19 地震すべてが対象となります。
00:17:55	(1)における検討対象地震の選定方法については、124 ページ以降に示してございます。
00:18:04	この方法で用いる震源特性は、ブロックインバージョン結果、
00:18:09	ブロックインバージョンの検討対象地震の震源特性を用いるため、観測記録の応答スペクトルで対象としました 19 地震のうち、
00:18:19	15 地震から、選定することとさせていただきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:18:23	また、本方法で作成する地震はが、過少もしくは過大評価にならないよう、さらに、15 地震から、
00:18:31	残差が 1 に近い、地震を対象としてございます。
00:18:36	選定方法としましては、算出した応答のフーリエ振幅と、観測記録のフーリエ振幅スペクトルの適合度につきまして、地震は干渉法でも用いますけども、アンダーソン 2004 と、
00:18:50	いう。
00:18:52	文献の指標を用いて、需要 F というんですけども、それがエクセレントフィットになる地震のうち、
00:19:00	全周期体に渡って、残差が 1 から大きく乖離しない地震を対象地震として選定する方針としてございます。
00:19:09	選定結果につきましては 125 ページに示してございます。
00:19:15	す。
00:19:16	15 地震のうち、需要 F がエクセレントフィットになるものは、5 地震になりますけども、そのうち、全周期体にわたって、残差が 1 から乖離しない地震として 3 地震を選定してございます。
00:19:31	この 3 地震につきまして、応答はと、観測記録の応答スペクトルの比較を、126 ページと、
00:19:39	127 ページに示しております。
00:19:43	⑤の地震、⑪の地震については再掲になりますけども、ルー 10 番を追加してございますが、これにつきましても、スペクトル形状が概ね整合し過小評価となっていないことを、
00:19:57	しております。
00:19:59	前回の審査会合でもご説明しておりますが、水平方向の 0.1 秒付近に、
00:20:06	付近で、黒線の観測の方が大きい傾向がありますが、これは 128 ページの通り、反射の影響と考えておりまして、
00:20:16	⑤⑪の地震を対象としまして、
00:20:20	地表の応答は地表の観測記録の額を、129 ページに示しております。
00:20:26	こちらを見ましても、応答はと観測記録の応答スペクトルを比較して、スペクトル形状が概ね整合し、過小評価になっていないことを確認してございます。
00:20:39	続いて 130 ページからが、括弧 2 になりますけども、地盤増幅特性による引き戻した地震はによる確認になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:20:50	(2)の方法では、131ページに示しておりますが、19地震すべてでの確認ができますので、19地震を対象としております。
00:21:02	132ページから140。
00:21:06	1ページですかね、ここに比較の結果をお示ししてございます。
00:21:12	これらを見ましても、応答反応度スペクトルは、観測記録の応答スペクトルと比較して、スペクトル形状が概ね整合しており、過小評価となっていないことを確認しております。
00:21:25	ご説明につきましては、以上でございます。
00:21:32	はい、説明あり。規制庁鈴木説明ありがとうございました。
00:21:37	今回は前回2月10日の会合で、
00:21:41	一応そのあとラップアップもしてですね、当時のアップアップは2月の10、
00:21:48	4だったかと思えますけど、
00:21:51	ちょうどそのときにも確認しましたが、一応その共通としてですかね川内共通として、もともと鉛直アレイとかですね、それをそのもとに、
00:22:03	しばらく減衰値を設定するんであるからして、その妥当性は、いわゆる観測事実ですね。
00:22:10	地震観測記録とかPS検層のモデルの結果とか、そういうものについて確認するっていう話とあとブロックE版上の位置付けですね。
00:22:18	これはいわゆる全体見てみるより一層の説明性の向上を目的する検討としての位置付けですよってのはこれ、会合でもそのあとのバックアップでもきちんと確認をして、
00:22:30	おります。
00:22:32	当玄海の方もですね、いわゆる方向性として、90メートルよりも、
00:22:39	深いところですね200メートルまでの範囲の減衰Q値を見直す方針で検討を進めては良いと言う話はもちろんしてありますが、
00:22:48	ちょっと今回ですねきちんとその当時の会合で話し合ったブロックインバージョンの位置付けであるとか、或いはそのときにも少しですね鉛直方向の話が出てましたけどそういうところの回答がですね、
00:23:02	きちんと成り立っているのか、論理構築したですね会、全体まとまっているのかというところで、
00:23:09	ちょっと少し全般的な話からですね確認をしていきたいと思えます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:23:14	まずほかようがないっていうことで、これ大分な資料になってこれ多分1から説明してこの説明し切らないと、全体通して説明できないっていうことだとすると、
00:23:25	ちょっと先々の申請、所のですね、恐れとかも含めて大分心配になってきますので、
00:23:31	まだきちんと概要をですね、手短にどういう論理構築で、エビデンスはどこにあるのかっていうのをパッとまとめてですね、その概要がまず、作るということかと思えます。
00:23:43	その上で、この資料もですね、これ、
00:23:47	前回時、もともとのベースは12月の会合だと思いますけど、別にそこを一部データプレートして、リバイスしてくださいということではないので、
00:23:58	当然前回の2月の会合で議論になった部分を含めてきちんとその論理構成をですね、かちっと押してくださいということなんですが、そのあたりがですね概要はないんですけど、18ページ、18ページが見直し後ですよ。
00:24:16	ちょっとこの辺も少し眺めながらですね、効果だと思います。ちょっとここを見てもですね、川内玄海共通で議論を競った、いわゆるブロックインバージョン結果を用いた経験的地盤増幅率とか多分その、
00:24:31	所々にキーワードで出てきますけど、
00:24:34	90メートル浅い地震観測記録のところには、設定と妥当性の両方当然出てきていないと。
00:24:42	他方で、90メートルまでのQ値を、少し深いところまで外挿したいですというのが、最深部地震計で深の地盤減衰Q値なんですけど、
00:24:53	ここにですね、まだ残ってるんですよ。2本柱として、友田岡野ブロック2番城野から出てくる。
00:25:03	5経験的地盤増幅率と、理論上含み損採算が残差が最小となる範囲がとかって出てきていて、
00:25:10	ちょっとここはそもそもその設定の主たる根拠にまだ残ってしまっていると。
00:25:16	というのが、
00:25:17	させて、その上で、
00:25:20	次の地下構造モデルの全体ですね、Q値の設定が2ヶ所で、200メートル深いところはこれ慣用値を使うので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:25:29	そこは1において地下構造モデル全体のところも、
00:25:34	これ、右側の妥当性の確認とか見ていくと、地震観測記録が取れてる90メートルまでの説明これは良いでしょう。
00:25:43	で、結局200メートルまでのことって何もここでは触れられていなくて、
00:25:49	そこをひっくるめて全部そのブロックインバージョンの話で最後カバーしにいったるんですよ。
00:25:57	少なくとも、慣用値を使っていない、いわゆる観測事実を基に設定した部分っていうのは、ちゃんとそこで説明を仕切ってもらわないと。
00:26:09	ちょっとここだと290メートルからマイナス200メートルが歯抜けになっちゃって、
00:26:16	これって、
00:26:18	12.5で説明し切った上で16.7には保守性を少し積むっていう説明にちょっとなってないんじゃないかなと。ですけど、
00:26:25	ちょっと今、ブロックバージョンの扱いですね、日付の話含めてちょっと今、確認をしたいんですけどこの辺り、
00:26:33	ちょっとどういう、
00:26:35	構成で考えているのかなというのを確認させてください。
00:26:44	はい。九州電力の本村でございます。まず1人の方の経験的地盤増幅率のところ、先日の会合では、
00:26:54	説明性向上というところの位置付けかなというところでございますけども我々としてはちょっと今日の資料ではですね、左の方のところ、
00:27:04	要は浅いところを決めた。
00:27:07	減衰を用いてそれがどれぐらいまで深さあるかというところには、ついては、そのままの記載にしてございますけども、これ一つで決めてるわけではございませんで、
00:27:20	速度層の断面とか見ながら、浅いところと深いところは変わらないとかですね、そういうところでありましたり、右側の妥当性検証目になりますけども、
00:27:33	ボーリング孔内のQ値とか、そういうもので、上と下が変わらないとかですねそういうちょっと多面的なところを、もう根拠にしているところでございまして、
00:27:43	明記はしてませんが、そういった多面的なところもありますので、これ土佐ほか一つで決めてるところではないというところで、一つの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	書いてないですけど説明性向上というところで考えては、いたところ でございます。
00:28:02	九州電力の明石でございます。考え方として今本村が申し上げた通りな んですけども、確かにこの18ページ下の表し方として、このブロック インバージョンのところが確かに
00:28:15	Q値の設定というところをに挙げておりますけどもそうではなくて、論 理構成としては、速度層断面を見て200メートルまでは概ね同じだね と。
00:28:28	いうふうに見てとれましたのでそう設定しました。それと矛盾しないか どうか、ブロックインバージョンから見てもそれがブロックインバジ ョンから見てもそれが矛盾するような話に、
00:28:42	なってるかならないかという説明性向上の位置付けとしてブロック2バ ージョンを使うと、いうことだと思いますので、この18ページのブロ ックインバージョンのことを書く位置付けがここなのかどうなのかと。
00:28:54	いうところはあるかと思えますご指摘を踏まえて、
00:28:59	すいません言い方悪いですけどそれはそうだなと今ちょっと思ったとこ ろです。はい。
00:29:12	はいちょっと少なくともですね、今のところだと、90から2-90から -200のところのQ値の設定ですね。
00:29:22	この部分で、その速度層或いは持っている慣習か地層区分なのかもしれ ませんが、そういうものにもとに設定して、いやそれと矛盾しないよ うなことを、
00:29:34	かどうかをいわゆる説明性の向上で経験的地盤増幅率を使ってますって いうのは、およそこの今の18ページとか、後の4、50何ページぐら いから出てくる構成だと。
00:29:45	そうは読めなくって、等価値もしくは何かこの経験的地盤増幅率の説明 性の方が重いような、しか読めないんですよ。
00:29:54	二つ、主たる根拠とそれを何かその説明性向上するものっていうそのい わゆる優劣関係があるならそれはっきりしてもらいたいですし、今だ と、
00:30:04	二つ根拠があってその二つで総合的に多面的に見て判断してますみたい になっているので、ちょっとそのあたりはですね、しっかりと
00:30:14	梱包論理構築ですねわかるようにしてもらいたいというのは、このQ値 の設定のところであり、地下構造の妥当性のところですかね。はい。
00:30:24	そちらの方の回答お願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:30:27	はい。九州電力の本村でございます。すみませんちょっと質問がちょっとあまり、十分にちょっと把握できてなかったんですけど、これにつきましては、要は
00:30:39	そういうところについては、観測記録で減衰の確認をしてると。
00:30:43	最深部地震計から 200 メーターまでについてはボーリング孔内の減衰とかで、そこら辺の妥当性を確認してるんですけども、
00:30:54	最終的にブロックインバージョンで -90 メーターから -200 メーターの妥当性を、
00:31:01	これで抑えにかかっているところが、ちょっと論理構成上、あまりよろしくないんじゃないかっていうちょっとすみません。十分理解できてなくて、すみません、もう一度お願いします。すみません。これ、御社のこの 18 ページのですね、全体の構成。
00:31:18	をもとに申し上げていると思いで、
00:31:20	速度層については、これ市岡から速度層当然新しくデータ取って、それは変わってませんということで、速度層の設定っていうのは改めて設定を考え直すってのがないのでそもそもこの全体の構成から入ってないですよ。
00:31:34	で、Q 値については、この新しく取れた地震観測記録と、それをどこまで外挿するかっていうことで、この 21 項と 22 項で、
00:31:45	Q 値の設定とその妥当性っていうのをそれぞれやってるわけ。
00:31:48	やっぱあくまで Q 値の話で、
00:31:50	地下構造モデルっていうとそれは全体の話になってくるので Q 値の設定値をどうするかじゃなくて、モデルとしてどうかっていうのがその 2 点、3 節で設定をして、
00:32:02	その妥当性 2.4 節で設定するので、
00:32:05	その 2.4 節で妥当性を確認しますといったときに、90 メートルまでのものは説明があります。
00:32:13	であれ -200 メートルまではどこにありますかっていうと、
00:32:18	ここからないですよ。
00:32:20	そのあたりは、前回の会合は 12 月と前回の 2 月の 10 日の会合、これで、もちろんやはり計算上のコントラストですかね設定したコントラストっていうところで、
00:32:34	捕捉率はもちろん必要になるんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:32:37	ここってPS 検層モデル、確認をして、何か変なピークはあるんだけどあくまで計算上のコントラス計算上その 200 メーター-200 に置いた計算上のコントラス。
00:32:50	によるものなので、ここでマイナス 200 メートルまでの範囲も地下構造モデルとして、実際に PS 検層で撮った観測リングとその観測。
00:33:01	地震観測局との間で、合ってますよっていう、何か話をしたような気がするんですけど、何かそこら辺が、
00:33:09	スルッと抜け落ちて、
00:33:11	何か 90 メートルまで説明したら、
00:33:13	ブロックインバージョンで矛盾がないか確認するっていう話になってしまってるので、
00:33:18	ちょっとそこがですね、
00:33:20	そうすると、これ 200-90 から-90 から-200 ってこれブロックにバージョンで説明したいんですか。
00:33:28	そうすると、それって前回位置付け確認しましたよねっていう、そういうことになるので、ちょっとここも論理が少し抜けてるかなという、
00:33:39	はい。九州電力の明石でございます今のご指摘のところ。
00:33:42	実はという言い方も変ですけどもだから当社としてちょっと表現ぶり書きぶりに悩んだところでございますこれ。
00:33:49	1 月、12 月から 2 月からの審査会合のときに、追加ボーリング、PS 検層で見えた、0.2 何秒間のピークこれは境界値問題。
00:34:02	そうしたものをですよというお話、これはちょっと今回のどっか補足にもつけておりますけども、ただし、ただその境界問題だということは 200 メートルより下、
00:34:14	がどうなのかと、いうことが明確に調査なりで把握できてないと、200 メーターのモデルが妥当だということは難しい。
00:34:26	どうではないか。なので以前の資料では、200 メーターまでのモデルが妥当 EV なんだから、妥当、
00:34:36	妥当性を言うことは、すいませんちょっと表現ぶり、パッとできませんけども妥当だというのは困難だと、いうふうに資料上まとめてたかというふうに記憶しております。
00:34:47	で、とは言いながら、裏返すと、少なくとも追加ボーリング、PS 検層によって 200 メーターのモデルの妥当性を今のところ、ひっくり返す妥当性を損なう事実は出てきてないと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:34:59	ということなので、その 200 メーターも、までのモデルの妥当性を損なうものではないと、というような言い方をするかどうかというところでちょっと悩んだんですけども、
00:35:11	あくまでもこれまでの会合での我々の説明としては 200 メーターが妥当だと、判断するところまでは言い切れないというふうに書いておりましたので、結果今鈴木さんからご指摘があった通り
00:35:24	90 から 200 あってちょっとはぬ形になったような形にはなっておりますけども、これまでの造影、
00:35:32	当社の会合でのご説明を踏まえた形になってるというものでございます。
00:35:42	はい、以上でございます。
00:35:47	きちんと地震観測記録ですね 19DC にふやして取れてる 90 メートルの範囲と、それよりも深い 200 メートル-200 までの範囲で、当然ながらそのどこまで根拠というか論拠が、
00:36:00	あっちから強い根拠があるかっていうのは当然差はついてくるとは思っていただからこそ、そのマイナス 100 までの範囲を少しいじるわけですよ。
00:36:09	ただちょっと、そこって歯抜けになってしまうと、何か巻きます。
00:36:13	200、地下構造モデルの妥当性が確認できた、主査はさりながらマイナス 90 までとマイナス 200 までで根拠に差があるので、
00:36:23	ていう流れに持ってきて前に、
00:36:26	-200 まで言えてないんだったら、
00:36:28	そもそもじゃはっきりと妥当だといえるのはマイナス 90 までですかと。
00:36:32	そこ以外は、
00:36:35	つまりは、あんたぽっと入れてないんだらばって、そういう話になる、なるんじゃないかと思うんですよ。
00:36:41	ちょっとそこは、もう少し、どこまで妥当性がいえるかどのレベルまでいえるかちゅうの軽重あるんだらば、少し表現を工夫すればいいと思いますけど。
00:36:51	少なくとも、今 PS 検層モデル話して、何か 71 ページに突如として現れてきてですね。
00:36:58	なお書き、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:37:00	で、PS 検層モデルによる伝達関数は補足 3 参照ってここで初めて出てくるんですよ。
00:37:09	少しその時応答、観測記録との音スペクトルの比較、マイナス 90 までのものと、いやそこまではっきりとしたことは言えんのですよということで、
00:37:20	朝はつけてるのかもしれませんが、いきなり何かここで出てくるってことは今のところ論理構築の中に入っていないというふうに私は見直しているんで、みなしているんで、
00:37:29	ちょっとそこら辺もですね-200 までの範囲をどうするのか、地下構造モデルの妥当性の説明として、
00:37:37	ていうのをちょっとまたそこは間きちんと資料は考えてもらいたいと思います。
00:37:43	はい。九州電力の明石でございます所長承知いたしましたというか、我々ロール寄りでちょっと悩み過ぎて、追加ボーリング PS 検層結果との比較検討。
00:37:56	そもそも丸と補足 2 をやってしまって、本体の方の流れでもほとんど表現してない。結果的にちょっと歯抜けという流れにもなってるかと思えますのでその追加ボーリングの結果を、
00:38:07	踏まえていえること、これまでも会合の中でもご説明をして、お話をしておりますので、それを本体の流れの中でしっかり位置付けられるように、ちょっと構成、
00:38:18	はとり直させていただきます。
00:38:25	はい。
00:38:27	お願いします。
00:38:29	あとですね、もう 1 回もう一つが、ブロックインバージョンの話でちょっと置いていて、もう一つはその鉛直方向ですかね。
00:38:39	今回だと、すいません鉛直方向の説明はどうでしたっけ。
00:39:00	あれ 80、
00:39:02	80。
00:39:04	2 ページから違ったか。
00:39:12	80、
00:39:13	1 ページまでが全地震で 82 ページからですかね。
00:39:25	これ、結局何かなぜこういう結果になったのかというところの原因は、これよくわからないんだけどもとりあえず 90 メートルまで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:39:36	いや何とか、何かなさそうですね。それを言いたいですかね。
00:39:41	電送立つ関数 9017 から 10-90 から 17 の伝達関数で当該このハッチングかけた当該周波数ですね。
00:39:53	多少、
00:39:55	19 地震の方が少し出っ張ってはいるもののなんかその激しく出っ張ってるというほどではなくって、
00:40:02	どのぐらい、何倍ぐらいかな 1 と 1 点。
00:40:06	PEEK 集い、これ。
00:40:08	メモリが一位にだから、
00:40:10	何か、何、10%とか 20%ぐらい値違うような範囲もちよこちょこあったり同じだったりってということで、何かわずかに、上回られている観測記録の方が上回ってるかもしれないけどほぼほぼ、
00:40:23	伝達関数の差としては、誤差で出向さってという言い方変かな、そんなに大きなものではないということなのかもしれないんですけど。
00:40:31	ここもですねえ。
00:40:34	あ、じゃあ、これも 90 メートルまでしか言えないんですねってということなんですけど。
00:40:40	まず、
00:40:41	私から、
00:40:44	90 メートルまでは、-90-90 から浅いところの伝達関数としてそんなに差がないんで、
00:40:52	そこの違いであそこまでの結果が出るわけ。
00:40:57	ではないということなのか、伝達関数がこの程度違うとあれだけの差が出る、幾つかの地震で、やっぱり主もの特定その同じ周期で、
00:41:07	やっぱり応答スペクトルの方、地震観測記録の方の音スペクトルが上回るような結果を生むということなのかちょっとこの辺をですね、
00:41:15	もう 1 回解説してもらっていいですか。
00:41:21	はい。九州電力の本村でございます。まずこの 19 地震、上下方向を眺めまして、見ていくと、
00:41:31	幾つかの地震で観測が上回ってるという、2 秒から 0.4 秒上回ってるというところがございます。ただ、系統的にすべての地震でそういう傾向が見られるかというところではないので、全体的に見ると、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:41:46	まずは、同等もしくは上回るというような判断をしてるというのが、まず最初の判断になります。ただ、84 ページ 85 ページに示しますけどこれらの地震では、
00:41:59	0.4 秒から 0.0、2 秒から 0.4 秒で観測を回るところがちょっと見られたので、まず会合のときにも仙台みたいなその伝達関数で見たらどうなんですかっていうことを、
00:42:16	まず聞かれたかと思しますので、まず、応答スペクトルではそういう、若干超えるところがあるところを、もう 1 回伝達関数で立ち返ってこう見たところ、
00:42:26	多少、青線のこの 82 ページですかね、若干差異は見られますけども、概ね再現できてると。
00:42:35	整合しているところを確認してるというところでございます。もう一つ、84 ページ 85 ページに示してますけども、
00:42:45	観測記録を見ても、
00:42:49	深いところの 90 メーターの観測記録を見ても、同じようなスペクトル形状が見られるので、
00:42:55	90 メーターより浅いところは、
00:42:58	のモデルについては妥当性が損なわれるもんじゃないと、というようなことで考えてますんでちょっと深いところの話先ほどありましたけど、90 メーター以深の話が先ほどありましたけども、
00:43:11	説明性向上と言うところでブロックインバージョンの結果を見ながらです、浅いところの設定が間違いないと、というようなところを、
00:43:21	そういうところが矛盾がないというところをブロックインバージョンで確認してるというところになります。
00:43:33	えっと、九州電力の明石でございますちょっと補足いたしますとこの、
00:43:38	82 ページからのところを、ですけどもこれ前回の会合でご指摘をいただいたところとして全部じゃないんですけど、
00:43:49	上下動を見ると、この特定 A の一部ですけども、この 0.2 から 0.4 秒の特定の周期体で、観測記録が、
00:43:59	上回ってる部分があると。ここについてちょっとが検討解釈をということだったと認識しておりますそれに対して、
00:44:09	まずこの 82 ページ、結局何をやってるかという、この伝達関数の先ほど鈴木さんからありました通り伝達関数としてこの程度の違いがあったら、それぐらいの上回ったり、出込み引っ込み生まれますかなど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:44:24	ということが言いたくて、このページをの検討整理をしてるわけではなくて、そういう感じ、観測記録が上回るということが、その観測記録に対してもの整理をすることができるのはその間す。
00:44:39	地震計が90メートルの上ですので、その90メートルよりも上のモデルがおかしいことによって、この観測で表示てるこういうでこぼこがとらえられてない。
00:44:50	そんなことはないだろうかとということで、まずは伝達関数としてちゃんと、要は大きな出っ込み引っ込みが出るような、伝達関数の違いになってないかと。
00:45:01	見てみると、この82ページ、伝達関数二相な、もうもちろん多少のデコミ引っ込みありますけど大きな差異はないので、少なくとも、少なくともじゃない、まず伝達関数の目、
00:45:12	で見ると、この90メートルより浅いところの、地震観測記録と照らし合わせることでできる範囲のモデルがおかしくって、こういう上下関係が生まれてるわけではないねということを確認してると。
00:45:27	いうものでございます。さらに、80、3ページ4ページ5ページについては、それをさらに別の視点、
00:45:38	やってること同じといえば同じなんですけども、応答スペクトルの形。
00:45:43	で見たときに、要は、例えば84ページと85ページこれ下段が-90メートルの観測記録、上段が-17メートルの観測記録ですけども、
00:45:57	この90メートルと17メートルのオートスペクトルで大きな違いが出てると、観測事実としてもその90メートルから浅い範囲で何がしかの増幅がある。
00:46:07	それを、モデルがとらえ切れていないということになるんですけども、この84ページ85ページを見ると、
00:46:15	この
00:46:17	-17メートルで出てくるような凸凹出っ込み引っ込みはもうすでに90メートルのところで、その出っこみ引っ込みがあらわれてるそれが90メートルで、
00:46:28	生じてる90メートルまでで生じてるものがそのまま、17メートルまでに上がってきてるだけなので、モデルとして90メートルから17メートルの範囲がモデルがおかしくて、
00:46:41	増幅がとらえ切れてる、きれでないわけではないと、いうことをちょっとこのオートスペクトルの江面でも、もう一度確認してると、いうのが八十三、四号。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:46:51	のページ。
00:46:52	になります。
00:46:55	以上でございます。
00:47:08	はい。規制庁佐口です。
00:47:11	私もちょっとここはそういう、
00:47:13	意見というのか。
00:47:15	言ってしまえば、
00:47:17	言いたいことはそうなのでしょうけどちょっと言い方が回りくどいかな という気は若干して、結局、
00:47:24	この 0.2 から 0.4 秒、あくまでも水平じゃなくて上下ですね。
00:47:29	ここに出てくる、独特得意じゃないかもしれないですけど、この凸の影 響ってというのは結局、深いところ -90 より深いところで、
00:47:40	生成されたものと、だからそこが要因なんですよということが、まずお っしゃりたいです。
00:47:46	だから、そういうことを考えると、少なくとも浅いところ -90 メートル より上については、これが要因で大きくなってのわけじゃないので、今 のモデルではこれ妥当なんですということを言いたいと。
00:48:00	だから、ちょっと何か回りくどいかなという気がしてですね、少なくと もマイナス 90 メーターより下に要因があるので、それより上では問題 ないですよということが明確にわかるような形で、
00:48:11	示していただければと思います。
00:48:16	はい。承知いたしました。
00:48:18	大分議論しながらわかりやすくしたつもりではあります。確かにちょっ といろいろずらずら並べてわかりにくいところもあるかと思いますの で、もうちょっと明快に把握できるように、
00:48:28	再整理をいたします。
00:48:30	以上でございます。
00:48:33	はい佐口ですね。ちょっとただ一言だけ
00:48:38	を言うのですね、さっきちょっと本村さんからの答えは気になったの でブロック 2 バージョンで見てもらって、ブロックインバージョンは上 下動ないですよ。
00:48:47	なので、その部分は、特に問題視はしてないんですけど、あくまでも、 90 メーター来とるより浅いところじゃなくてそれを深いところの影響な んですよということがわかるようにですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:48:59	きちんと書いていただきたいと思います。
00:49:10	はい。
00:49:11	そうすると、
00:49:14	モデルの妥当性のところで、
00:49:18	一応あれですかね観測。
00:49:22	記録 PS 検層モデルと、
00:49:25	整合はしてますと、何かその、いわゆる同等もしくはそれ以上みたい なところは行った上では言いつつもという、一段、
00:49:34	下がるというか、形でこの特定の周期 1 分の観測記録でさらにですね、 次、多くではなくて、今まで一部の周期でこういうことがあるので、そ の日、
00:49:45	影響が浅いところはないのか。
00:49:49	ちょっとさすがにマイナス 200 メートルまでの範囲って広げて、何か物 を妄想というと、ちょっとそこは難しいし、統一積もう PS 検層モデル で、
00:50:00	ある程度その妥当性の説明というのはした上での話なんで、
00:50:05	ちょっと差がつく、それが結局最後の、
00:50:09	一部上乘せっていうところに、Q 値の上乗せに入るのかもしれませんが けど、
00:50:14	ここでやっぱ浅いところには何かしらの原因はなさそうだ。
00:50:18	そういう説明。うん。が、
00:50:21	ぎりぎりですかね。はい。すいません。
00:50:23	ちょっとここは水わかりやすくしてもらえればなと思います。
00:50:28	他はそのコメント回答ですかね。
00:50:32	全体の論理の話或いは米今野上下動の話とかですね、コメント回答に該 当する部分。
00:50:41	大きなところで何か確認ある方おられますか。
00:50:47	たければ少しちょっと細かいところに入っていこうかなと。
00:50:51	はい。
00:50:53	既設の名倉です。
00:50:56	最初の方で、
00:50:58	少しお話した 6 インバージョンの位置付けに関しては、
00:51:04	前回 2 月の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:51:07	14日にApp面談をした時の資料の11ページとか見ると参考にとということで、
00:51:14	明確にコメントの整理をしていただいたんだけど、その共通コメントのブロックインバージョン結果を用いた地下構造モデル全体の妥当性確認。
00:51:26	ということに関して、こちら辺に書いてあることが、
00:51:32	ストレートに反映されていないんじゃないかっていうふうにちょっと見ました。
00:51:37	地下構造モデルの妥当性、
00:51:41	について、
00:51:43	矛盾がないことって、
00:51:46	妥当性の確認の妥当性の確認というキーワードの、
00:51:52	妥当性等の確認の間に、
00:51:55	越冬に矛盾。
00:51:57	がないことをってただ単に入れてだけで、構成はみんなそのままじゃないかというふうに私は見ました。
00:52:04	そういう意味で、ちょっとこのままの構成だと、こちらの意図した内容とかコメントは反映されていないんじゃないかっていう問題意識がまずあった。
00:52:18	それからあともう1点は、
00:52:21	ちょっと今もう、不明確になったんだけど、
00:52:24	そもそも鉛直方向の観測事実との整合性に係る検討を実施しなさいと。
00:52:31	ということでコメントは出しましたが、その内容は、鈴木が発言した内容をちゃんと見てますか。
00:52:39	その内容に答えてますか。
00:52:42	答えにくいかもしれないけど、それは記録に残ってるのもう1回よく見てください。
00:52:47	幾つかの地震において周期0.2から0.4秒付近で局所的に観測記録の応答スペクトルを下回っている要因をどのように推定しているんですか。
00:52:56	その要因の地下構造モデルの見直しへの反映用紙をどのように考えているんですかって。
00:53:01	具体的に聞いちゃってるんですね。
00:53:04	それに対して今回どういうふうに答えてるのかっていうところでは、ちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:53:09	不明確なのかなあと。
00:53:13	ちょっと私気になったのは、
00:53:16	あくまでもこれ、
00:53:19	事業者の方は、-90メーター最深部地震計よりも、浅部です。
00:53:24	に関して、反映する必要がないってこれ当たり前の話を言ってるんだらうなど。
00:53:31	だってそこに要因がないんだから反映しようがないでしょ。
00:53:34	それをそれ、それは言葉遊びにしか私はとらえてなくて、それより深いところにじゃどうして反映する必要がないんですか。
00:53:44	反映できない反映するような見通しがないから、1次元じゃモデルができないような要因だったのかもしれないけど、そういう要因だから、だからブロックインバージョンで補足的に示さないと何も言えないから言いました。
00:53:57	それが最初の方の共通コメントのほうに戻って、明確化できなかった共通コメント明確化位置付けが明確にできなかったんじゃないかという疑いを持ってしまった。
00:54:09	ちょっとここら辺は、
00:54:11	少し、
00:54:14	ちゃんと構成も含めて反映をまず共通コメントに対しては反映していただかないと、多分介護にかける意味があまりないのかなと。
00:54:25	あと鉛直方向の観測事実との整合性に係る検討って一体何をどういうふうに答えるのかっていうところについてはもう少し指摘内容も、ユーチューブでよく確認した上で答えていただきたいなと思いました。以上です。
00:54:40	はい。九州電力の明石でございます。まず今小関の前半の方は、ブロックインバージョンの位置付けまず説明性向上として、
00:54:51	我々も認識はしてるというつもりなんですけども資料上の表現として結局それが妥当性の確認の流れの中に町長出てくる。そうじゃなくって、あくまで基本は、
00:55:02	観測事実というに基づいて、妥当性はこうです。で、それに対してAブロックインバージョンでそれと矛盾するような話はないですよという、
00:55:12	いうことが補足的に確認できると言う流れに資料上も明確に取れるように、再構成しなければというふうに認識しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:55:22	で、同じようなことだと同じではないかもしれませんが鉛直についても、その観測事実を基にまさに 90 メーターよりも浅いところは反映する必要はないですよということと、
00:55:34	90 メーターの深いところに対して何か矛盾するようなどころがあるのかなのかということをしっかり確認して、そういう観測事実として確認できてることを宇和。
00:55:46	ひっくり返すようなものはないですよということがしっかり論理構成として説明できるように、ちょっと説明は再整理をいたしまして、
00:55:58	もちろんちょっともう一度この前の会合での話介護の用地もしっかり見て、構成はとり直させていただきます。以上でございます。
00:56:11	規制庁の岡名倉ですけども。
00:56:14	ちょっと今お答えになられた内容で確認したいのは、
00:56:18	結局、
00:56:19	ブロックインバージョンわあ、
00:56:23	地下構造モデル。
00:56:25	うの設定に関して妥当性ではないですよ。
00:56:28	矛盾がないことこれは指針も含めて矛盾がないことを、
00:56:33	説明性のより向上の観点で参考的に確認する。
00:56:39	ということなんだけど参考的ではなくてこれ使わないと説明できないって今言ってるように聞こえたんですけど。
00:56:49	九州電力の明石でございます。すいません使わないと説明できないと、すみません申し上げたつもりはないんですけども、このプリプリバージョンに参考的に使ってみて、
00:57:02	妥当性を述べていることに対して、違うことを経が生じてないかということ参考的に確認するというつもりでございました。
00:57:25	はい規制庁佐口です。やっぱりですね、
00:57:29	これはあくまでも前回会合で我々から申し上げてお互いに九州電力とも、
00:57:36	もう意見の、
00:57:38	合意終えた話ですので、当然ながら
00:57:42	今回 125 ページでも示していただけてますけど、123120425 で、特に 125 で、もうはっきり書かれていて、
00:57:52	少なくともこの自営を Gof っていうのがいいものっていうのは、
00:57:57	まずご自身しかないと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:58:00	15 地震のうちにも地震ってもう 3 分の 1 なんですよね。
00:58:04	もっと言うと、もともと、
00:58:08	観測記録として対象とされたのはその 124 ページの 19 地震あって、
00:58:14	そのうち、ご自身なり、さらに確認っていうのか、検討としては 3 地震可視化されてないって、やっぱりこれって参考なんですよ。
00:58:25	なので、基本は、このブロックインバージョンによる結果を用いなくても基本、まず説明をしていただいて、
00:58:32	最終的に、トータルのモデルとして、こういう知見等照らし合わせて見ても矛盾がないよねという、多分、御説明の流れになるのかなと少なくとも、
00:58:45	前回の会合で、そういった、
00:58:48	お互い合意終えたと思いますのでそういう形で、きちんとですね、
00:58:52	やっぱりまとめて説明をしていただきたいと思いますのでその点はよろしくをお願いします。
00:59:01	はい。九州電力の明石でございます承知いたしました。そこは十分に我々も認識はしているつもりなんですけどやっぱり、資料上または説明の中でもブロックインバージョンにどうすればこだわり過ぎてる感が、
00:59:14	あるかと思imasのでそこはちょっと綺麗に整理をさせていただきます。
00:59:27	はい。他、大所はよろしいですか。
00:59:43	谷です。ちょっと前は何かこんな話したのかもしれないですけど、最後 16 てなのに、
00:59:51	しましたよとこれは、
00:59:56	裕度を持たせるんだというような説明が、
01:00:02	95 ページにあって、
01:00:04	この
01:00:06	標準応答スペクトルを考慮した地震動にさらに余裕を持たせることで安全裕度の向上を図ってるんだっていうのが、
01:00:14	何かこれ。
01:00:15	12.5 から 16.7 に見直したらどどういうこういとかどの辺の周期でどういったいうのがあるのかとか、そういうのをちょっと教えてもらっていいですか。
01:00:31	はい。九州電力の本村でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:00:34	深いところー90メートルから200メートルを、12.5から16.7、地盤減衰のパーセンテージで言うと4%から3%というところなんですけど、
01:00:44	減衰を変えることで、当然最終的に評価する地震動の最大加速度が上がるというところもありますし、周期体自体もですね、
01:00:55	平行移動するような形で、
01:00:58	上がる。
01:01:00	というふうなイメージを持って、そこでちょっと融度が、地震動としての裕度が上がってくると、いうようなところで、今何が上がるのか、そういうところはちょっとお答えできないんですけども、そういうレベルで、最大加速度も上がりますし、周期胎児、
01:01:15	全体もまた地域の方が上がるというようなイメージを持っていただければ、
01:01:22	九州電力の明石でございます。今16.7に見直したことによって資料上で見て取れるのは、89ページと83、93ページ。
01:01:34	これを見比べてみなんか変わってるのというレベルだと思います。実態、実態というか今後、模擬地震を作っていく中で、この影響がどの程度出てくるか、間違いなく影響が出て、持てると。
01:01:47	正直ベースで申し上げると、いろいろ試算をしてる中ではこれも須賀のところではない10から20からのレベルで、地震動レベルとしては差が出てくるという感触はありますので、
01:01:57	そういう嵩上げと言ったらおかしいですけども、次、移設になったときに、目に見えてあなるほどこれぐらい上がってるんだということが上げているようなことを、
01:02:10	当社としては、やっぱり考えたというところでございます。
01:02:16	はい、谷です。
01:02:17	なんかそういう話をちらっと聞いたような聞いてないようなものなんですけど、何か資料上何か。
01:02:24	そう。それぐらいのものが見えてきたらいいのになと思ったんですけど、明石さんおっしゃる通りなんか9819と93見比べても、私ね、
01:02:34	何がこう変わるのかなとかちょっと思って、素人的な質問かもしれないんですけど、
01:02:41	それは、今の段階では見せれないってことなんですかね。最終的には出てくるけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:02:49	エコ、この、この効果っていうのは、今の段階ではなかなか説明しづらい。
01:02:57	はい。九州電力の本村でございます。なかなかこの、何ページ、さっきお示ししていただいた見直し後のモデルの応答スペクトル等、
01:03:07	見直し前のものですかね。確か前回の2月の会合で何か比較みたいな形で見せ提示させてもらったと思うんですけど、
01:03:18	ただちょっとレベル感としては、さっき明石が申した通り、このくらいのレベルの観測記録のレベルだと、なかなか見えないところがあるんですけど最終的に模擬地震
01:03:28	議論が、議論といいますか。
01:03:31	審査の時とかですね、今僕自身はまだ出せてないので、なかなかさっき言いました10月20ガルとかっていうところがちょっと、しにくいところでは、
01:03:41	あるんですけども、
01:03:43	はい、現状としてはそういう、
01:03:46	事実確認できました。
01:03:50	規制庁の名倉です。
01:03:55	今後、
01:03:56	いついつの段階、どういうふうな審議の段階になったら、現実的にそれが示せるのかどういう形で示せるのかっていうことも言及した上で、
01:04:07	現状、試算としてはSsレベルの地震動に対して、大体これぐらい。
01:04:15	という形で、そこら辺、何か補足的な説明をしておくというのが一つやり方としてはあるかと思います。
01:04:24	そういった形で少し先で示すんですけども、事業者としてはそういうところまで見据えた上で、この文章書いてるんですよ。
01:04:33	そのイメージとしてはこれぐらいですよっていうことについて可能な範囲でちょっと言っていた方が、具体的なイメージを持って審議できるんじゃないかなというふうにちょっと思いました。
01:04:45	以上です。
01:04:46	はい九州電力の明石でございます承知いたしました。なかなか先んじて説明する飲もうと思ってちょっとあれで当社側主躊躇してたところが正直ではございますけどももちろん、
01:04:58	おっしゃる通り、資産感触としてこういう感触あるだからこそ我々はこういうことをやるんだと、いうことはご説明はすべきだろうと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:05:08	いうふうに思いますので、参考として示すのか補足として示すのかちょっと示し方は考えますけども、それをご理解いただけるように、ちょっと資料、
01:05:18	加えたいと思います。以上でございます。
01:05:29	はい規制庁サービスですちょっと今気になったんで、ちょっと細かいところろう。
01:05:35	で言おうかなと思ってるんです。丹ですけど、ちなみにこの 93 ページの参考というのはどういう扱いなんでしょうか。
01:05:44	おそらくこれが最終的に再設定という形でされてますけど、御社が設定したモデルによるものを最終結果の一つ。
01:05:55	であると思うんですけど、何かこれ参考っていうと、
01:05:59	結局温泉はどのモデルとして設定するかっていうと、89 ページのところが結局最終結果で、なので、それに、
01:06:09	基づく、
01:06:11	モデルというのが、
01:06:13	多分最終という形なんだろうかっていう。
01:06:17	最終的に標準応答スペクトルを、
01:06:20	考慮した地震動評価に用いるモデルとして、
01:06:23	どのモデルをまず、
01:06:26	設定をするのかっていうのがですね。
01:06:29	ちょっとよくわからなくて普通に考えれば、一番最後に出てくるモデルが、
01:06:33	そうだろうと思うんですけど、
01:06:35	いやあくまでもこの 993 ページの参考という、
01:06:40	扱いにされてるのがちょっとよくわからなかったんで、そこは少し教えてください。
01:06:48	はい。九州電力の本村です。我々としましては、設定フローとかにも書いてますけど最終的には、最終的にはといいますかまず妥当性確認としては、
01:06:58	92.5、90 メーターから 200 メーターまで 12.5 っていうのは、まずは妥当かと考えている中でさっき申しました地震動レベルに裕度を持たせるというところで、
01:07:11	最終的に 90 メーターから 200 メーターまでを、16.7 にするというところを、最終的に河成かさ上げたというところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:07:22	やってまして、それに直した後、後に参考という形でつけさせていただいておりましたけどもすやっぱり最終形というところでは、90 メーターから 200 メーターを 16.7 にしたところになりますので、
01:07:34	ちょっと参考というところは、
01:07:37	ちょっとあまりよろしくなかったかなとちょっと今、思ってるところでございます。ちょっと
01:07:42	参考とるなりで会議をしたいと思います。
01:08:17	九州電力、
01:08:19	同じものです。はい。で、ちょっと凡例がちょっと違う。
01:08:23	長名倉ですこれ。
01:08:25	判例の違いって、
01:08:27	私は応答は標準応答スペクトルをモデルって言ったら、
01:08:32	これは EL-15 メーター。
01:08:35	のスペクトルを表示してるんじゃないですか。
01:08:39	それに対して、
01:08:40	は、後ろの方の 93 ページでしたっけこちらの方は、
01:08:45	EL-17 メーターの値を拾ってきてるんですね。
01:08:50	P+F
01:08:52	それだから、表示しているものが特に赤線は違うんですね。黒は同じなんで、黒は同じなんだけど赤は違うものを表してるっていう理解してたんですけどそうじゃないですか。
01:09:04	九州電力の本村でございます。89 ページと 93 ページについては、応答はの赤線ですねこれについては、EL-17 メーターで、
01:09:15	同じものになっているので、ちょっとそういう誤解も与えやすくなっていますので、ちょっと、
01:09:22	適正化したいと思います。
01:09:31	九州電力の明石でございます。今本村カーラーはなお話しました通りこれ、89 ページも 93 ページも、判例はすいません判例の、
01:09:41	表現が違ってますけども同じところを、同じものを示しているものでございます。
01:09:46	今回図面をは、また持ってきて全体像として修正するとき、判例をいろいろまた差し替えて間違いが起きてるといような気づかいの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:09:58	元江本の判例のまま、結果として違うものということになっちゃって ると思いますんでそこはしっかりチェックをして、統一的に見られご覧 いただけるように修正をいたします。
01:10:19	はい、じゃあ、田嶋さん。
01:10:21	規制庁の田嶋です。すいません。
01:10:24	ちょっと話は戻るかもしれないんですけど1点ちょっと念のため確認な んですけど、
01:10:31	最初のあたりで、
01:10:34	Q 値の L-90 メートル以深ですとか、さらに深い 200-200 メートル以 深とかは、
01:10:44	ブロックインバージョンの妥当性確認というのがなくなるということ で、関連して、
01:10:53	この深い方の Q 値の、ある意味 0 妥当性という意味で、既許可時とかの ものもあるのかもしれないんですけど、
01:11:04	既往の文献とかの Q 値との比較とかそ、そういう観点では、情報が何か あるのかそれとも今回いろいろ詳しく、新たに設定した。
01:11:17	200 メートルより浅い Q 値に関しては、
01:11:21	独自にいろんな方法で、
01:11:24	設定されてると、か。
01:11:27	県解析をして設定しているので、やはり独自にやるしかなかったのか、 っていうのを、辺りを、
01:11:34	その深井あたりのその参考資料っていうのが、若干参考扱いにブロック インバージョンがなったこともあって、もし妥当性の確認でそういう既往 の知見よりは、
01:11:47	どうなのかとかっていうのがもしあれば、一応比較なり、
01:11:51	説明があった方がいいんじゃないかと思ったんですがいかがでしょう か。
01:11:58	はい。九州電力の本村でございます。特に深いところの Q 値の話だと思 うんですけど、我々もちょっと文献とか調べてはいるんですけどなかなか ちょっと見当たらないというか、
01:12:11	やはり深いところがなかなかこう、
01:12:13	Q 値が推定されたりとか、そういうところはちょっと難しいかなとは思 いますけどちょっともう 1 回、洗い出したいと思います。それとあと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:12:21	例えば浅いところの話を我々独自にやっていると強いですけども、これについても例えば近くの K-NET で同じぐらいの地盤の硬さとかの Q 値とか、そういうところがあるかなと思って周辺眺めてみたんですけどなかなかこれもちょっと見当たらないところもありまして、
01:12:38	ちょっと難しいところはあるかもしれませんがちょっと努めて参りたいと思います。
01:12:43	規制庁の田嶋です。ありがとうございます。そうですねそうしましたらそういう状況もあるので、今回、独自に、浅い方に関しては検討する SIMMER 深いところに関して強い、
01:12:56	調べていただけてないのであればそれも、一応、
01:13:00	書いていただいた方が、それも調べた上でここでの検討が、より、何ていうんですか最新のものです、拠り所としているものなんだというのが説明された方が、
01:13:12	妥当性のある意味示す一つになるかと思しますので、ご検討ください。
01:13:36	はい。今の点も、一応この地下構造モデルで許可のモデルアップデートではなくて一応この表紙を通すべきせるように、新たに作りますという話であるので、
01:13:48	当然ながらその
01:13:50	一応今参考でいくつかついてますけど、200メートル深いところから地震基盤相当までですね。
01:13:57	この部分までのものの地下構造ってこういうふうに設定しますっていうのは、一応これは新規モデルを作った結果として同じものなんでしょうけど、
01:14:05	その辺の説明はある程度いるというところでもしかしたら、プレーするような何か知見があるのかもしれないのかもしれないですけどそこら辺は、
01:14:15	多分最後補正とか申請書を書くときに、一応別物としてこのモデルを作りますっていう前提から入るので、ちょっとそこら辺が、構成とかも含めて、
01:14:25	後でも考えてくださいと。
01:14:28	すいませんあとですね、ちょっと幾つか質問して、
01:14:35	あと、
01:14:36	ちょっと資料のところ、これ本当しょうもない話なんですけど、このところですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:14:42	いやこれリバイスだけはやめてくださいねという冒頭申し上げたもそう なんで、例えば 23 ページとかですね、一部こういう
01:14:50	図だけ。
01:14:51	ズードタイトルだけっていうページがあって、ちゃんとこういうのも、
01:14:57	このページで何を表してるのかっていうのは、
01:15:00	最低限書いてください。
01:15:02	ここだけじゃないんですけどね。
01:15:05	本当だ同定結果で図だけ出てて、いやこれを見せられて我々何を。
01:15:10	この図をもとに、皆さん思い思いに取り取ってください。
01:15:14	何を。
01:15:15	読み取れるのかご自身で考えてくださいじゃないはずなので、
01:15:19	こういうところは少しやめていただきたいかなと。
01:15:23	いうのと、あと、20、
01:15:27	が違うか。
01:15:29	23 ページ等、
01:15:34	困るかな 26 ページかなあ。
01:15:39	ここでこれも単なる確認なんですけど、最後、3、三つの地震を選定し てますよね。
01:15:47	最後に、一応ここ密磨きに内陸地殻内地震の平均的な特徴を有する地震 など、
01:15:56	と言ってるので、何か平均的な特徴って何のことを言っていて地震等の 等って何を指してるのかなあという。
01:16:04	一応これを選んで、他のものを選んでない。いや、別に都合のいいもの を選んだだけじゃないですってということなんだと思うんですけど。
01:16:12	何か何が平均的な特徴で、
01:16:14	均等っていうと、ここにあるのは地震しかないような気もしたんですけ ど、
01:16:18	簡単にしょうもない話の確認ですけど、
01:16:27	本店から九州電力の高田です。こちら 26 ページに記載していますが、こ の平均的な特徴を有する地震等につきまして
01:16:37	事実としてどういう選定をしたかに関して言いますと、伝達関数を見た 時に平均伝達関数と比較して同様のような特徴を有する地震と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:16:50	ということで3地震をピックアップしているというものでございます。ちょっと記載ぶりについては具体性がちょっと欠けているところもあるかと思いますが、ちょっとそちらの方は検討させていただきます。
01:17:01	選定の事実としては先ほど申した通りでございます。以上です。
01:17:08	わかりました。ちょっと、当然恣意的に選んではないと思えますけど、
01:17:12	注釈打つなりステージ、
01:17:15	少し具体、具体化というか、どういう観点で選んだかわかるようにしてくださいと。
01:17:20	あとですねこれも、
01:17:23	この28ページgですかねこれ。
01:17:29	多分前ももしかしたら最初のころにも聞いたのかもしれないんですけど、
01:17:33	これ判例が三つあるんですけど、これはEL-11.0からマイナス10何て言うと、どっかに重なってしまって、
01:17:43	見えないんですかね。
01:17:45	ちょっと何か伴
01:17:47	あって私色の見間違いなのかもしれない、少なくとも伊勢が日本にかけないで、
01:17:52	いかさせて、
01:17:56	本店から九州電力高良です。こちら、28ページで言いますと
01:18:03	赤線と青線が重なっているような状況でございます。下の表で見ていただくように数値的にもですね90αとか同じ値と、
01:18:16	いう中で11メーターが17メーターの赤線と10-17から-50の青線こちらが重なっているというような状況でございます。はい。わかりました。やっぱりしたと。
01:18:29	宮下のその表と見ながらで見ないといけません。了解ですありがとうございます。
01:18:34	あと、これも相間単なるしょうがないでしょこれ29ページと34で、29ページで①から⑱で、地震の名前を数字を割ってて、
01:18:45	34ページで9001から9019ですけど、これは同じでいいですよ。
01:18:53	1P値とG1から2桁結局最後
01:18:56	神坂は干渉法の方ではじいたのは、鹿児島県北西部の3地震、9001。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:19:04	002003 というのは 010203 と一応対応してるんでいいんですよね。はい。九州電力の本村です。ちょっと記載が整合できてないですけど①と、これ、こちらの 34 ページですかね。
01:19:19	の 9001 っていうのは一致してまして、
01:19:23	なので、19 まで、①から⑱番、並んでると。
01:19:28	で除外したの①から③、P9001 から 003 って書いてますけど、①から③の地震を除外してると。
01:19:36	ということでございます。ちょっとすみません、記載が整合してないのでわかりにくく、誤解を生む形になってますが、少なくともなんか順番づらいの入れ替えたりしてなければいいですはい。
01:19:48	あとですね 36 ページの、
01:19:52	ところ、やっちゃうかな。はい。36 ページですね。
01:19:57	これー上下動のことを書いているんですけどね、ポツ、括弧、三つある三つ目ですねなお書きで、
01:20:05	この上、鉛直方向の Q 値は水平方向に比べて小さい傾向であるがと書いていて、
01:20:13	この小さい傾向にあるっていうのはこれ、何をもとに言ってますかね。少なくとも何かバイリニアとか地震は干渉をとって上下、鉛直方向のものだから出てなかったような気がして、
01:20:26	周波数依存型の方の結果、
01:20:30	をもとに言ってるのか、何ていうか、一般論として委託委託って書いているのか。
01:20:36	はい九州電力の本村です。ちょっと記載があまりよくなかったかもしれないですけど、これ言いたかったのは周波数依存型ですね。今回の資料で 24 ページに示してますけども、
01:20:52	この数、NS 方向 EW 方向に比べて UD 方向は、Q 値が小さいというところで、これを意識して、この三つ目のポツというのは、
01:21:03	記載しているというところでございます。
01:21:08	はい。
01:21:08	わかりました。ちょっとそこら辺を表現の工夫ですかね多分このページだけではわからないので、
01:21:16	あれですか、今おっしゃったような周波数依存型、
01:21:19	1024 ページの結果からこういうことが言えて、
01:21:23	とは言いながらも、これは水平と同じなんだけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:21:26	入れるんで保守性を有していますとそういうことですね。はい。
01:21:34	あとですね 38 ページ。
01:21:38	そっからは、補足飛ぶんですけど、一応ここで、もう川内も玄海も同じような構成なんですけど、
01:21:47	ポツポツ三つ目のポツですかね $Q=12.5$ の OWTF 等々は応答スペクトルが、
01:21:54	一部その観測記録の下回るものについては特異な地震観測記録であることを確認しますと。
01:22:01	言っていて、ここには番号書いてないんですけど補足 2 に飛ぶと。
01:22:13	補足 2 に飛んでいくとこれ、16 番の熊本地震の EW、
01:22:21	方向で、0.25 秒以下が、地震観測記録を下回ってますと。
01:22:29	これは何ですかということで、
01:22:32	ていて、9 つか 2 ページぐらいとか、その 109 ページに増額結論が書いてあって、
01:22:40	ここの卓越周波数の 3.5Hz 程度、この付近で大きなピークが、
01:22:46	あるような地震が入力されると、その周辺の周波数体にも影響を与えて全体がぼこっとかさ上げ、結果的にかさ上げされます。
01:22:55	そこに大きなものがある程度の大きなピークが入ってこないと、その効果が期待できずに、
01:23:03	短周期が引き上がらないので、観測記録を下回りますって、
01:23:07	ということが書いてあるんですけど。
01:23:10	うん。いや単に私の理解が悪いのか読み方が悪いのかなというぐらいを返してしまうと、そこに大きなものは来ないと。
01:23:18	運よくくればいいし運悪く来なければ、こういう結果になるして、
01:23:23	いう読めてしまったのですが、
01:23:30	ただはからずもこういう結果を読んでいます高良、もう、16 地震以外は、短周期がぼこっと盛り上がったんで、何かモデルがよかったからというよりも、
01:23:42	入ってくる
01:23:43	この試算卓越周波数付近でこの入ってきたんで、よかったんであまりモデルがよかったからという。
01:23:50	善し悪しの話ではないってということなんですかねこの部分。
01:23:54	ちょっとすいませんここよくわからなかったんで教えてください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:23:58	はい。九州電力の本村でございます。この一つの地震ですねこの熊本地方の AEW 方向 16 番の地震ですけど、モデルが、
01:24:08	悪かったってわけじゃなくて、さっき鈴木さんが言われてましたけどこれ-90 メーターの記録を入力してシミュレーションをしてるところで、他の地震とかも眺めてみると、16 番の地震だけ、この
01:24:23	110 ページですかね、の右側にありますけどこの 3.5Hz で、普通、ある程度成分があると、加算効果というところで見られるんですけどこの地震についてはもう、この 3.5Hz 付近がポコッと、
01:24:38	成分がないようなところにありまして、ところがありまして、こういうところで、具、
01:24:46	たまたまというところであれですけどもちょっと地震この記録だけはちょっと特異な感じがしたというところで、そういうところで、特異な地震という扱いでちょっと補足②でちょっとご説明を入れてるところでございます。
01:25:04	九州電力の明石でございます。このページのところ以前の会合でご説明したところをそのままつけてたが、結果としてわかりにくくなったかなと思いますけども、
01:25:17	これご理解としては、今鈴木さんもちょっとおっしゃってた通り、これ、モデルのせいではこんなことが起きてるわけではなくって、地震に関する地震そのもの大阪これ震源の、
01:25:29	問題かなと思いますけどもこういう特性を持ってる、ということになっちゃうと、要はモデルのせいではないということ、
01:25:37	確認してるもので、この観測記録は何かおかしいのではじいてそれ以外で判断しますと、いうことが言いたいわけではないので、ちょっとそこを要はこれで何が言いたいのってのがちょっともうちょっと明確化、明確に把握できるように、
01:25:52	表現できればなと思っております。以上でございます。
01:25:59	はい。これ仙台もね前のやつも一緒だったんですけど、
01:26:03	補足に行くまで中殿自身が、観測記録に書く目視で特異なものかどうかを確認してその結果が何だったのかって端的に書いてなくてですね。
01:26:15	補足に行くと初めて何か何か、No.16 のことを、
01:26:19	説明したかったんですねっていうふうになるので、そこら辺も含めてですねわかりやすくしてもらえばなと思いますし、これあれですかねこの地震は、
01:26:29	こういう形でたまたま 16 の地震の EW 方向 90 メートルに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:26:34	3.5Hz 付近であまり大きなものが入らなかったということなんですけど、
01:26:38	結局最後、今回そのモデルを使って評価する地震動って、
01:26:43	ある程度、特にそのどの並立主周波数体が、
01:26:49	とかっていうことを満遍なく作ってるものを入れるので、そこは、
01:26:53	もし、実際に使うときには影響を受けないんでしょうか。
01:26:57	1 個 1 個の地震だと、たまたまそういう地震がありますってのありますけど。
01:27:01	標準応答スペクトルで評価する時には問題にならないでしょうとそういうことなんですかね。
01:27:08	はい。
01:27:10	すいません紙資料の中でですね所々気になった部分、ほかに。
01:27:17	あれも、ちょっと時間もあと 20 分ぐらいなければちょっとテンロクの話しようかなと思います。
01:27:24	規制庁佐口です。ちょっと私今のところ実はすごく気になっていて、ごめんなさい私の中でストーンと落ちなくてですね、やっぱり 109 ページとか 110 ページって、
01:27:36	-90 メーターのところに、こういう成分が少なかったんで、結局増幅されなくてですね、党派としては、
01:27:46	なので、町作品ですよってご説明なんですけど、
01:27:51	でも実際観測記録の音は現れてるんですよ。
01:27:57	だから、
01:27:59	それは、
01:28:00	じゃあ何で観測記録の方には現れるんだけど、応答版には現れないのかっていう。
01:28:07	そこがちょっとよく、
01:28:09	わからないっていうかストーンと落ちなくて、
01:28:13	実はこの 3.5Hz のピークって、
01:28:17	一見すごく関係ありそうで、
01:28:19	関係ないのかもっていう。
01:28:21	つまりそのフーリエスペクトルで見たらそうかもしれないんですけど応答スペクトルにすると、多分周りの機器を設けるので、
01:28:29	ひょっとすると、
01:28:31	周りのところが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:28:33	ちょっとどうなのかなと、そういう影響ってあるんですかないんですかっていう。
01:28:38	観点で見た方がいいのかなと一瞬思ってしまったんですけど、何でこれ、観測記録の方の応答スペクトルには、
01:28:49	出てくるんですかね。
01:28:52	それは上の方ですね、-17メートルですか、こっちの方の。
01:28:57	観測記録の方には、
01:29:06	はい九州電力の本村です。
01:29:09	おっしゃる通りですね観測はもう持ち上がってるというところだと思うんですけど、そこはちょっとすいません今現時点ではちょっとはっきりとしたことはちょっとわかってないというところではございます。
01:29:22	確かに今回の16番の地震のEW方向につきましては、3.5Hzで、成分なかったというところで周りの周期体の話もあるかと思います。
01:29:35	ただ、こちらの110ページですかね、のフーリエ振幅を見ると、3.5Hzだけでぽこっとう下がってるわけじゃなくて、3.5Hzを
01:29:45	中心としてかなりポコッと、
01:29:49	トラフみたいな形でかなりへこんでるところがあるので、そういったところも、
01:29:55	成分が小さいというところもあるのかなというふうにはちょっと思ってますちょっと答えになってなくて、あれですけども、はい。
01:30:06	規制庁佐口です。多分その辺がひょっとしたらだから応答スペクトルと、府営スペクトルの違っているか伝達関数のところで、ひょっとしたら何かあるのかなという気は。
01:30:18	したんですけど、やっぱり106ページですよ。
01:30:23	この3.5Hz、0.3秒。
01:30:26	ぐらいですか。
01:30:29	ていうところだけをピンポイントで見ちゃうと、いや、そうではなくてですね。
01:30:33	それよりずっと、
01:30:36	周期0.02秒まで含めて、
01:30:39	これずっと
01:30:40	と。
01:30:42	下回ってるんですよ。
01:30:44	なので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:30:45	何かこう、3.5Hz 付近だけが影響してると。
01:30:50	いうふうにも何か見えなくて、
01:30:52	結局なんか引きずられて、
01:30:55	短周期のところの影響が出ているのかなという気はするんですけど。
01:31:00	だからちょっと今の、何かあくまでもこう 3.5Hz 通ピンポイントでここだけの何か影響ですよとかって言われると、ちょっと本当そうかなっていう気はしました。すいませんなんか感想、感想的なことになってしまったんですけど。
01:31:15	あとですね、ちょっとごめんなさい。これ、少し本質、
01:31:19	の話になるかもしれないけどちょっと私さっき言いそびれてしまって最初の方なんですけど、
01:31:26	結局ですね 10 ページとか、
01:31:28	11 ページのときに、
01:31:31	いわゆる今回その追加でやった PS 検層、これはその減衰、
01:31:37	とか速度構造両方なんですけど、これとの関係ってどうなってるのかなと。
01:31:43	例えば 10 ページだと、下の方に、
01:31:47	救急地の話は出てきます。
01:31:50	だけど、
01:31:51	実は 11 ページで見ると、
01:31:53	これ今回モデルの設定方針のところ、どこにも出てこないんですよ。
01:31:59	そうすると、この 11 ページだけを見ると、あくまでもこれ観測記録だけで設定をしますと、
01:32:06	観測局というのは地震観測記録だけですね、というふうに見えてしまって、
01:32:10	そうすると、90 メーターをしたって設定できないんですよ。
01:32:17	なので、ちょっとそのあたり、
01:32:19	10 ページ、11 ページの関係、それから、当然その、
01:32:25	新たな D たという意味では、地震観測の記録が増えただけじゃなくて当然追加でボーリングもやりました PS 検層をやりました Q 値の測定をしました。
01:32:36	こういうのも当然入って、
01:32:38	来ると。
01:32:39	思っているんですけど、なので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:32:41	最初、鈴木とか私が少し
01:32:44	確認しましたが、18 ページで、この設定の根拠として、何を、
01:32:51	用いて設定をして、
01:32:54	最終的にその妥当性をどういふもので確認をしていくのかと。
01:32:58	ちょっとその辺りは、
01:33:00	もうちょっとやっぱり整理をしていただいて、
01:33:03	今回そのモデルの設定にあたり、こういうデータが追加されたからって いうのも大きな、
01:33:09	一つの要因というのか、ものだと思いますので、そこは、
01:33:14	先ほどちょっと、6 という話も出ましたけれども、
01:33:18	多分おそらく、
01:33:19	そういう話って多分、
01:33:21	出てくるんじゃないのかなと思ってるんですけど。
01:33:25	あくまでも何か確認のためにやりました終わりじゃなくて、やっぱりそ れは、
01:33:31	今回新たに、
01:33:33	取得したデータ。
01:33:35	その設定に設定の根拠として用いるデータです。
01:33:40	というのは言ってくると思いますのでちょっとそこは整理をしていただ きたいと思います。
01:33:53	はい。他、会合資料で、失礼。ヒアリング資料でありますでしょうか。
01:34:00	なければもうそろそろ、ちょっと時間も時間なんでちょっと少し、その 全体の構成というか、ところも含めて、
01:34:08	ああいうとこ資料が詰まってる案件であるのちょっとテンロク的な観点 でもう少し、
01:34:14	一つ、1ヶ所だけ確認しておきたいんですけど。
01:34:18	確か前回3、4からさのテンロクって77755、7.5、5でしたかねそこ で、多分敷地地盤の振動特性っていう形で地下構造の話をもとめてい て、
01:34:32	もともとの本体ですよ。
01:34:34	その中で地震観測及び微動アレイ探査、7号郷さんですかね。
01:34:43	そこって多分今回の変更申請上私もし、申請時の変更申請のテンロクで すね標準応答スペクトルによる変更申請電力、ここ変えに行っていないん だと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:34:55	特定せずの工法でそこにそこを買いに行って、そこで地下構造モデルの説明をしているということになる。今後、当然、それ以降の議論を踏まえて、
01:35:05	どう補正するかってのは今後の話考えられてるんですけど、
01:35:08	ただ、今ですねもともとと言ってた振動特性のところって、何か地震観測記録、敷地内でとれた地震観測記録っていう項目があって、
01:35:20	多分それって買いに行かないと7地震のままなんですよね。
01:35:25	何か地下構造モデルの設定のところでは、プラス、それ以降に取れた地震を足して、
01:35:32	何か評価するんだけど、
01:35:34	何か敷地地盤の振動特性のところは、許可のところやってる7地震。
01:35:40	で出す多分2005年の福岡県西方沖地震がなんか多分一番でかくて、
01:35:45	その応答スペクトルが大きくてそれで、特に著しい増幅が見られないって、もしかしたらそこは大規模は変わらないのかもしれないんですけど、
01:35:55	この後M5以上の地震で、
01:35:58	支持地盤で獲られた観測記録ですね。
01:36:01	これを園田によって、到来方向で算定してとかって、なんかそんな話も出てるんですよね。
01:36:09	何か地下構造モデルのところでは使うのに、何かこういう敷地の地盤振動特性のところまでは、
01:36:15	何か扱い、
01:36:17	どうするんでしょうかというか、そこって今地下構造モデルの説明なので、
01:36:21	それって何かどこでも説明せずに、突如として、何か申請書に、
01:36:26	結果ですね、この
01:36:28	熊本地震ですかねその辺を足すんだと思うんですけど、足しても到来方向による特異な地盤増幅の傾向は見られないって、後から出てきても、いつどこでも確認していないのに、急に最後、
01:36:40	申請で出てくるっちゃうのはそれは変な話になってくるので、
01:36:44	これからもし後々、地下構造地下振動特性っていう、いわゆる地下構造モデルの方で、
01:36:51	電力買いに行くんだったら、別にその、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:36:56	大々的に説明しろとは言わないけど、かかわらないんだっただけですね、 とはいえ、多分ここで説明しておかないと、何か説明する場所がないよ うな気もするので、
01:37:05	ちょっとそういうところもですね、含めて、おそらく、
01:37:10	はい。
01:37:11	一旦ここで地下構造の話をする、あんまり改めてですね、何かまとめ 会合が1回2回やってとかなんて、多分そんな時間ないはずなので、
01:37:21	そういう説明の漏れ、後々し、
01:37:25	補正とかをですね将来的には当然地震動の話も、地盤斜面をやってない ので、それできるかどうかなんて話も申し訳ないですけど、そういうこ とも、
01:37:34	考え、準備しておくんだっただけですね、最終的な説明漏れがないよう に、ちょっとしてもらいたいなと思って、
01:37:42	ちょっとそこら辺は、
01:37:44	今この時点で何かお考えがないのであれば、ちょっとそこは持ち帰っ て、対応を考えていただきたいかなと思います。
01:37:57	はい九州電力の明石でございます今お話のありましたところ、実態とし ては、今回の申請にあたっては既許可のところはもう極力いじらずに特 定せずの中で完結するような、
01:38:10	構成員丸井無理やりしてるというのが実態だと思いますので、携わりな がらその観測記録としてのとらまえ方それを踏まえた、
01:38:21	振動特性であったりして地下構造モデルっていうところを章立てとし てやっぱり綺麗に整理はしてかなきゃいけないかなとは、
01:38:29	思います。今日非常に冒頭でもございましたけどもそもそもちょっと今 回の検討を概要版として整理する中で、こういうこと等、こういうのデ ータなり、
01:38:42	事実を基にこういう整理をして結論はこうだ、それがゆくゆく新申請と か補正にどう繋がってくるのかという、頭の整理をし、してかなきゃい けないと思ってますのでそこは、
01:38:53	ちょっと直接と整理を進めていきたいと思います。以上でございます。
01:38:58	はい。多分そうやっていくと、
01:39:01	結局、何か申請時点から追加でやった行為さっきのPS 検層もそうで し、あとはその議論の過程で、
01:39:10	今その見直し後、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:39:12	何か別に見直し前、標準応答スペクトルモデルと見直し版、16、12.516.7 もそうですけど、
01:39:19	見直し後標準応答スペクトルモデルが存在するわけじゃなくて、結局最終形態って、今御社が考えてるのって 90 メートルまで 12.5、200 メートルまで 16.7。
01:39:29	200300 かな。
01:39:31	で、結局その最終形態が申請内容になるので、
01:39:35	ちょっとそういうところを意識して、最後、
01:39:39	何か途中の変遷を経て、
01:39:41	追加されたから何か追加だとか県なんか見直しだとかそういう話ではなくて、最後、答えは何なんですか。
01:39:48	そこを意識して、
01:39:50	頭の中ですね、こねくりまわして資料作ってもらえればと、そういう趣旨ですいません今のうちから申し上げておきました。
01:40:00	他、特になければ、ちょっと冒頭のほうで申し上げた方が、ものとしては重いですけど、もっとそのブロック以下上の位置付けですとか全体の構成とかですね。
01:40:11	そういうところは見直して、資料はつくり直していただく必要はあると。
01:40:16	ということで、まずはその資料を直していただいてもう 1 回ヒアリング補強というふうに考えております。
01:40:27	規制庁佐口です
01:40:29	ちょっとこの玄海川内も含めてですけど、ちょっと
01:40:34	後ろがあるので、
01:40:36	後であるので、まだちょっと時間があるので細かいところを含めて、もうこれ
01:40:43	メモでもいいですし、録音でもいいです、それを反映させるかさせないかっていうのは、お任せします私がもう、
01:40:52	気になったところ、細かいところ含めて幾つか申し上げます文字、23 ページこれあの、
01:40:58	身障関係があるので、
01:41:01	何とも言えないんですけど、結局この周波数依存型って、御社少なくとも 25Hz までって言っているんで、これ 25Hz まで出せるのであれば 25Hz まで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:41:13	出してくださいっていうのと、
01:41:16	その 25Hz っていうのは、当然 24 ページで 25Hz までこれ出てるので、
01:41:24	伝達関数とかの比較についても 25Hz まで出せるんだったら当然出してください。
01:41:30	それから、
01:41:34	もう 36 ページ。
01:41:37	あ、ごめんなさいさ 30。
01:41:42	27 ページか 27 ページ。
01:41:45	27 ページで、これは、
01:41:48	バイリニア型の、
01:41:50	だと思うんですけど、
01:41:52	これ見るとですね特に一番左なんかよく、
01:41:55	あれなんですけど 10Hz 上空です。
01:41:57	なんかあんまり合いがよくないような気がします。真ん中もそうですね。10Hz、まあ 10Hz ぐらいまでいいんですけど今度 20Hz に行くと。
01:42:07	何か観測とあんまり合っていないのかなという気はしています。で、
01:42:11	なのでこれがもともとの何っていうんですかねせ制度とか、そういう関係があるのかなとも思いますし、
01:42:19	ちょっと本当に対象校の
01:42:22	これも 25Hz なんですけど本当に 25Hz で弾いのかどうかっていうのは確認をしてください。
01:42:29	で、
01:42:31	35 ページ、これも同じですね 3536 ページの干渉法って、
01:42:37	これは 20Hz までしか出ないのかっていうのと、
01:42:43	あとですね、多分干渉法のどっかのところの設定のところ、
01:42:49	ですね。
01:42:50	スムージングのところ、30 ページですか。
01:42:53	これ F の 1.3。
01:42:56	とあってあるんですけどこの F って、要は中心するはずって幾つかっていうのわかるんだったらこれ、ちょっと書いてください。それによって何かちょっと見る。
01:43:05	ところが、限られてきたりするのかもしれないんでちょっとそこわからないので書いてください。で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:43:14	36 ページきました。
01:43:16	36 ページで、
01:43:17	これいきなりやっぱり 12.5 って出てくるんですけど、これは御社がエイヤと決められた値なのかもしれないんですけど、
01:43:25	別に、
01:43:27	この下の絵を見ると別に自由でも、
01:43:30	20 でもいいような気もするんですけど、どういうリレーに 12.5 とされたのかかけるんだったら書いていただきたい。
01:43:39	39 ページ目以降の位置付け。これちょっとよくわからないっていうのかもともと、これが問題になってはいるんですけどちなみにこれ、
01:43:49	応答はって、
01:43:51	周波数依存だったわけですよ他のものは、なぜ入れなくていいのか。
01:43:56	一番何か保守的に考えるんだったら、周波数依存型なので、
01:44:01	それだけ示しているのかもしれないんですけど、
01:44:04	この中で、
01:44:06	やっぱり幾つかですね。
01:44:09	例えば、
01:44:11	⑤番。
01:44:13	⑤番の、
01:44:15	これ NS とか EW、
01:44:18	やっぱり 0.1 から 0.2 秒って行く路線がちょこんとこう引っ張ってるんですよ。
01:44:24	同じく⑥番。
01:44:26	EW もそうですし、ずっとちょっと補償に行くと 14 番、⑭番 15 番 16 番 17 番 18 番と。
01:44:34	という水平で、
01:44:36	周期約 0.1 秒から 0.2 秒がちょっと本当でという点ですとか、あと上下動でも 7 番だったり 12 番。
01:44:46	ていうところの周期これ 0.1 秒以下になるんですかねというところで、
01:44:51	ちょっとポート観測記録の方が上回っている。
01:44:55	あと当然、今日ちょっと少しご説明あったんですけど、この 0.2 秒から 0.4 秒。
01:45:05	上下動ですね。
01:45:07	これって結構たくさんあるんですよ今日って多分 16 番か何か。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:45:11	御説明の1例として挙げられてたんですけど、私が見る限りは、6番7番、9番10番13番15番16番ぐらい。
01:45:21	もうちょっと細かいところ見れば、結構あるんですよ。
01:45:24	だから、こういうことについて、
01:45:28	いわゆるその、
01:45:29	地下構造モデルの設定との関係。
01:45:33	について、
01:45:34	どのように、
01:45:36	考えられているのか。
01:45:39	今日一部説明ありましたが、その他説明がなかった部分もあるので、
01:45:44	例えば、水平の0.1秒から0.2秒の部分については、こういう理由なんでしょう。
01:45:52	上下動で、この部分についてはこうなんだろうという、
01:45:55	何か書けるのであれば、
01:45:57	それはきちんと書いていただきたい最後のその観測結果、観測記録の比較とのところですね。
01:46:08	ね。
01:46:10	あとですねやっぱり、先ほど申し上げましたが、今回の
01:46:15	追加のボーリング、
01:46:16	結果、これってやっぱり追加データとして結構重要なとは思ってるんですけど。
01:46:22	例えばですね、54ページこれ地質図を変えろとかそういう話じゃないんですけど、
01:46:28	54ページだと、例えば、G値っていうのは、多分この断面に確実に入ってくると思うんですけど、
01:46:36	場合によってはこれ、
01:46:39	ここにちょっとつけ足して。
01:46:41	これまでとのPS検層結果とどういう関係にあるかメールとか、
01:46:47	そういうのがあるといいかなと思いました。
01:46:53	んで、
01:46:54	あとですねやっぱり9次の設定のところ、ボーリング結果で、PS検層をやられてこれも重要な、
01:47:03	結果の一つなんですけど、
01:47:10	例えば65ページ、65ページで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:47:15	これ多分幾つかあると思うんですけど前もちょっとちらっと聞いたかもしれないんですけど、
01:47:21	なぜ、数あるボーリングコアの中から、
01:47:26	管制機構この件数測定っていうのは、この3校を選ばれたのか。
01:47:31	こうこうこういう理由で、この方向を
01:47:35	を測定することを決めたんですというような理由がもしあるんだったらそれは変えていただきたいと。
01:47:45	あと67ページこれは、
01:47:47	何か
01:47:49	浅いところと深いところで、
01:47:52	同じような傾向が、
01:47:54	ありますよということ、法で用いると。
01:47:58	いう、これまでもご説明だったんですけども、
01:48:02	ちょっと本当に同じに見えるかっていう部分も含めてですね。
01:48:06	というのと、そもそもこれ、
01:48:10	66ページ見れば、大体わかるんですけど、測ってる周波数体っていうのが、いわゆる今その評価をしている周波数体と全然これ、
01:48:22	違うようなものなんですけど。
01:48:25	そういうのも含めて、
01:48:28	結局その
01:48:29	浅いところと深いところで、
01:48:32	同じっていうことだけを、
01:48:36	言いたいと。
01:48:38	マースするのって、
01:48:41	ちょっと畠から見ると、
01:48:43	いいとこ取りしてるようにも見えなくもないので、
01:48:49	いや、
01:48:50	ちょっと違うじゃないかっていう見方もありますし、いや数値そのものがすごく大きいじゃないかと。
01:48:57	いう見方もありますので、ここはなぜこういう考え方になった、ちょっとその散乱の影響とかそういうのもあるんでしょうけど、
01:49:05	このQ値で表されている63とか39とかっていう値が、どの程度のものなのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:49:14	もうあくまでもこんなものみるみる値じゃないのか、それとも参考程度にはなるのか。
01:49:20	そういう、
01:49:21	ちょっと考え方は、やっぱりこれ示していただかないと。
01:49:25	何かこれいいとこどりしてるだけじゃないっていうふうに見えるのかなってごめんなさいこれ感想ですけど。
01:49:39	あ、さっきも言いましたね。
01:49:42	0.2 秒から 0.44 秒で大きくなる、82 ページ以降のところ、
01:49:49	これ。
01:49:51	熊本地震塾 13 万でした。13 番を例に挙げてますけど、
01:49:56	これもやっぱり、先ほどもちらっと言いましたっけ、6 番 7 番 9 番 10 番 13 番 15、16 万とか、
01:50:04	データの 3 分の 1 以上は実は大きくなってるので、
01:50:08	ちゃんここはですね、
01:50:11	鈴木からも、
01:50:13	コメントとか確認ありましたけど、
01:50:16	どういうところに要因があって、それに対してどうモデル化として反映すべきなのかそうじゃないのかっていう。
01:50:23	ところはきちんとご説明いただきたいと。
01:50:27	思います。
01:50:30	はい。とりあえずごめんなさい、細かいところは以上です。
01:50:49	はい。ちょっとさ。そうですね私もそのさっきの岩石項のところは、やっぱり PS 検層でダイレクトに Q 値を取りにいってると、岩石コアでいえること。
01:51:00	示すことって、
01:51:02	およそ 10 日値、
01:51:03	同じ根拠のレベルなのかっていうと、
01:51:06	ちょっとそこが違うのかなと。
01:51:10	そこら辺も含めてですね、どういう扱いであそこの説明を使うのかも含めてちょっと考えた方がいいかなと思いました。
01:51:18	他なければ、ちょうどいいですかね時間も、その数 2 時間ぐらいになりますんで一応で、
01:51:24	ヒアリングの方は終了したい。
01:51:28	ますよろしいですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:51:30	はい。
01:51:31	特に 9 周年本、接続詞本店の方特に何かありませんか。なければ以上で終了します。
01:51:38	よろしいですか。
01:51:39	では福地玄海の地下構造モデルの設定の 1 回目のヒアリング以上で終了しますお疲れ様でした。
01:51:46	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。